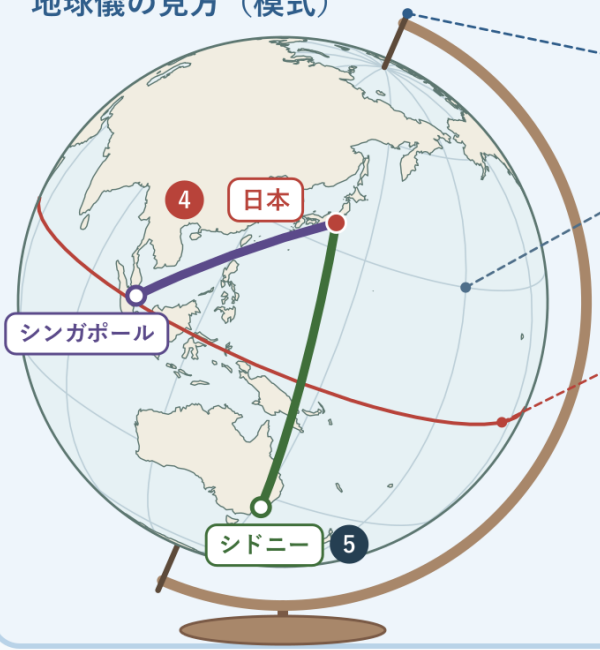
地球儀で調べる日本と世界

地球儀を使うと、世界地図ではわかりにくいどんなことがわかるのだろう

地球儀の見方（模式）



1 地軸
北極と南極を結ぶじく

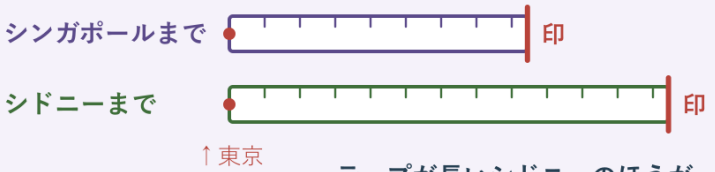
2 経線と緯線
経線の方向が南北、
緯線の方向が東西

3 赤道（緯度0度）
北半球と南半球の
さかい

4 日本の位置
ユーラシア大陸の東、
太平洋の北西にある

紙テープで、日本からのきょりをくらべる

5 東京にテープのはしを当て、もう1つの地点に印をつける



テープが長いシドニーのほうが、日本から遠い。

同じ島や大陸の見え方をくらべる

世界地図（ミラー図法。太平洋のまわりを切り出した）



地球儀で見ると



グリーンランド



オーストラリア大陸
（2つは同じ大きさの地球）

世界地図：グリーンランドのほうが大きく見える
地球儀：オーストラリア大陸のほうがずっと広い
（面積はオーストラリア大陸が約3.5倍）

目的に合わせて使い分ける

地球儀のよいところ

- 陸地の形や大きさ、位置の関係が正しく表される
- 2つの地点の方位やきょりを確かめられる

世界地図のよいところ

- 世界全体を一度に見わたせる
- 持ち運びやすく、広げてくらべやすい

※ 地球儀の絵は模式。地球儀と世界地図の陸地は同じデータから描いた。世界地図は場所によって縮尺が変わる。